

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リトル青い空		
○保護者評価実施期間	令和6年2月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年2月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業所における自己評価総括表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事ごとのイベントを屋内だけでなく、敷地内の畑や芝山を利用して屋外でも開催できる事	野菜の収穫や敷地内全部を使用したエッグハントなど、子供たちが身体をいっぱい使って楽しめる季節ごとの活動を企画し、実施しています。	10人以上の人数で取り組むと更になお楽しくなると予想される企画(エッグハントなど)は、他事業所の利用者さんや職員も合同で開催したいと考えています。
2	隣接事業所(就労継続支援B型事業所)の利用者の方や職員と共に行事を開催し、幅広い年齢との交流の機会がはかれる事	春・秋の音楽会では大人と子供と一緒に音楽や歌を楽しめる事を意識し選曲、練習しています。	ピアノ、クラリネット、大正琴を演奏していますが、様々な楽器の音色を提供できる様に他の楽器にも挑戦していきます。
3	ほぼ毎日ピアノの時間と紙芝居の時間が設定されている為、子供たちが音楽や物語に触れる機会が多くある事	ピアノは童謡をはじめとして邦楽や洋楽など流行りの曲を取り入れ、小学生から高校生まで様々な年齢層が楽しんで参加できる様に選曲しています。 紙芝居は物語だけではなく生活・交通マナーなど日常生活でも必要となる題材を実施しています。	現在の取り組みを継続します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNSの運用が低い事	支援と支援の為に準備時間(個別課題で使用する教具の作成や環境整備など)に多くをあてている為、広報への割り当て時間と人員が低くなってしまふ。	現在作成している広報樹の実やリトルレターを活用し、法人や事業所の活動について公表していきます。
2	リトル保護者会(年度説明会)や樹の実後援会の活性化	同上	3月末に行っている年度説明会の開催日時を検討し、多くのご家庭に参加頂ける様に検討します。 縫製ボランティアや野菜収穫ボランティアなどを樹の実後援会へ依頼し、後援会と事業所の活動が活発化する様に努めます。
3	医療的ケア児への対応	知的障害、発達障害の就学児童の方を対象に支援を行い環境設定を行っている為、医療的ケア児の方を安全に受け入れる体制が整っていません。	医療的ケア児の方を対象とし運営を行っている事業所情報を収集し、ご家族から相談が入った際にはご提案できる様に努めます。